

# 福祉サービス第三者評価の結果

様式第9号



## 1 福祉サービス事業者情報

### (1) 事業者概況

施設名称	小柳保育園	種別	保育所		
管理者氏名	園長 山口万里子	開設年月日	昭和 52 年 4 月 1 日		
経営主体	社会福祉法人 均生会	定員	60人	現員数 H26.10.1 現在	73人
所在地	〒030-0915 青森市小柳 2 丁目 8-2				
連絡先電話	017-741-5888	FAX電話	017-741-5888		
ホームページ	小柳保育園 → <a href="#">検索</a>				

### (2) 基本情報

サービス内容(事業内容)		施設の主な行事		
認可事業 1. 延長保育 2. 障害児保育 3. 異年齢児交流	自主事業 1. 一時預かり	・入園進級式 ・園外保育 ・親子バス遠足 ・七夕集会 ・もちつき会	・保育参観日 ・七五三お宮参り ・発表会 ・クリスマス会 ・夏祭り	・誕生会(毎月) ・卒園式 ・修了式 ・お泊り保育 ・運動会 ・ひな祭り会

居室等概要		居室以外の施設設備の概要	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室 4</li> <li>・調乳室 1</li> <li>・遊戯室 1</li> <li>・調理室 1</li> <li>・事務室 1</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児室 1</li> <li>・沐浴室 1</li> <li>・医務室 1</li> <li>・職員休憩室 1</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内放送設備</li> <li>・遊戯室、乳児室エアコン完備</li> <li>・非常時通報装置設置(警備会社直通)</li> </ul>	

### 職員の配置

職種	人数	職種	人数
園長	1	栄養士	1
副園長	1	調理員	1
主任保育士	1	用務員	1
保育士	15	嘱託医(内科・歯科)	2

## 2 評価結果総評

### － 評価の高い点 －

#### ◇発達に応じて、かつ主体的に自然や社会と関わり、社会性や公共心を育む取り組みが多彩です。

3歳以上児は、年齢別の保育室において、発達に応じて段階的に社会性や創造性を育む行事や活動が展開されています。特に、5歳児は毎月2回の書道教室やスイミングスクール、毎月1回のクッキング保育の他、親子バス遠足、電車乗車体験をかねての三沢市の県立航空科学館見学、人形劇・シルエット劇等の観劇会、市内各所でのイベント出演依頼によるよさこいソーランの演舞(年3回程度)等々、地域の公共施設・機関等を利用する機会が極めて多彩であり、社会性や公共心を育むことに大きくつながっています。

#### ◇食事を楽しむことができるよう、また、乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、創意工夫しています。

栄養士等の調理者が日常的に保育室を見回って子どもの喫食状況を実際に目で確認したり子どもと対話したり、給食会議をはじめ保育者と、時には保護者と情報を交換したりすることで、一人ひとりの子どもの食事の量や嗜好、体調等に応じた適切な食事を提供できています。また、子どもたちが育てた野菜を調理食材として食べたり、毎月1回のクッキング保育等、食事を楽しむ多彩な工夫を進めています。

#### ◇新たなホームページによる、情報発信の充実と積極的な対応に努めています。(スタートしました。)

新たに制作された(全面リニューアル)小柳保育園のホームページでは、園の概要や保育内容はもとより、行事の様子、一時預かり、財務諸表の公開等、保護者及び地域へ情報発信をし、苦情などにも積極的に対応する姿勢を打ち出しています。

### － 改善が求められる点 －

#### ◇何よりも理念・基本方針の再構築と、定期的な「理念教育」の実施に期待します。

社会福祉法人均生会がなぜ保育事業を営むのか(法人の理念)、それを受けて小柳保育園が何を理想として掲げ保育を実施していくのか(保育園の理念)、そしてそのためにどのような方向性で臨むのか(基本方針)について、あらためて全職員で見直すと共に、定期的な(少なくとも年に2回以上)理念教育を実施してことが望まれます。今こそ『理念なくして方針なし、方針なくして計画なし、計画なくして実践なし』を全職員が理解し心構えていくことを、強く期待します。

#### ◇職員の意思統一や保育業務の標準化等に向け、弾力的な園内研修の実施が不可欠です。

保育園の営みは「職員の意識や価値観」にその多くを頼らざるを得ません。どんなに崇高な理念が掲げられていても、どんなに詳細なマニュアルが整備されていても、活用する「職員」すなわち「人」次第で質は決定づけられます。理念の実現のためには、意思を統一させながらの業務の標準化が不可欠です。ぜひとも、園内に全職員が参画する「学びの場づくり」を進め確かな実践力と質の高い専門職集団となるよう期待します。

#### ◇現状、現場を反映させた資料作りと、周知や共通理解を持つための環境作りに期待します。

今回、事前に提出頂いた資料や訪問調査で確認させて頂いた資料等、長年慣習的に使用されていると思われる内容のものが散見されました。経営者や管理者側が主導で作成する資料や、職員全体で話し合い意見を取り入れて作成していくものなど多数あると思われそうですが、ぜひ、経営や運営に関わる資料(事業計画・報告書、会議録等の公文書)や保育業務に関する文書・資料等(公文書も含まれます)を見直し、全職員が理解し共通意識を保っていく取り組みが望まれます。更に、新たなホームページにも対応する環境を保ち、整合性を図っていくことを期待します。

## 3 第三者評価に対する事業者のコメント

初めて受けた第三者評価の実施により、管理者ならびに職員の意識改革につながった事が一番の収穫でした。第三者評価機関からの講評は大変参考になり、今後の努力目標が見えてきましたし、沢山の手だてを知る事ができました。

今後は、子どもの健やかな育ちを支える為の保育を今一度見つめ直し、問題改善と資質の向上に努めて参ります。

お忙しい中、本当にありがとうございました。



平成 26 年 12 月 10 日 提出  
(評価機関→推進委員会)

評価機関	名 称	福祉サポートサービス
	所 在 地	青森市青柳 1 丁目 8-28
	事業所との契約日	平成 26 年 3 月 25 日
	評価実施期間	平成 26 年 4 月 25 日 ~ 平成 26 年 10 月 28 日
	事業所への評価結果の報告	平成 26 年 12 月 8 日

## 評価細目の第三者評価結果

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織	評価結果	評価結果講評
<b>I-1 理念・基本方針</b>		<p>保育園の理念が明文化され、保育課程とホームページに記載されていますが、基本方針として位置づけられている保育方針や保育目標は、入園のしおりとホームページ、更に保育課程に示すものとの内容が異なっており(訪問調査時)、いずれも、職員の行動規範となるような具体的な内容にまで至っていませんでしたので、整合性を保った内容と掲載に整備していくことを期待します。</p> <p>理念・基本方針の位置づけや整理がやや不明確で、管理者層(基幹的職員)の説明も十分ではなく、園内の掲示や資料等の配布もなされていません。よって職員は何が理念なのか基本方針なのか、保育課程にあるものがどういう意味を持つものか、入園のしおりで示す保育目標に向けてどのような点に着眼、配慮して子どもを育むのか等の共通理解がなされていませんので、今後の取り組みに期待します。</p> <p>保護者には入園のしおりを配布していますが、目標や方針を読み上げて説明していません。今後、地域住民(町内会・公民館等)や関係機関に向けて周知していくことも望まれます。</p>
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		
I-1-(1)-① 理念が明文化されている。	b	
I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	b	
I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。		
I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	b	
I-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	c	
<b>I-2 計画の策定</b>		<p>法人・保育園としての中・長期的な計画書は作成されていません。ぜひ、向こう数年で実現したい想いや現状の問題点や課題を直視・整理した上で作成していくことが望まれます。それらの計画を単年度の事業計画に反映させ、数年先(3~5年)を見越した法人や保育園の具体的な経営と運営計画を策定して進めていくことが望まれます。</p> <p>事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業の実施状況の把握・評価を踏まえた上で、必要に応じて計画の再確認や見直しが行われていません。また、職員等の参画のもとで策定されていませんので、今後の取り組みが期待されます。</p> <p>現在の事業計画は、方針や目標を主体にまとめられており、また、年間行事を含め実施月や回数などの表記に留まっていますので、「行事計画」や「子どもの年間目標」、給食関連の「ねらいや食事への配慮」、その他全ての項目において単に前年度の書き写し(未来形と過去形)とならないよう、評価や反省を踏まえ熟慮作成していくことを期待します。</p> <p>また、事業計画書は職員へ会議等で配布・説明をし、保護者等には事業計画抄本を配布して、法人や園の方針等を周知していくことなども望まれます。</p>
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	c	
I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	c	
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	c	
I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	c	
I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	c	
<b>I-3 管理者の責任とリーダーシップ</b>		<p>園長(管理者)は職員会議で安全管理や園児の処遇に関する自身の意思を表明しており、職務分担表にも業務を記載していますが、職務分担表が全職員に配布されていないことなどから、職員は園長・副園長(理事長)の職務についての理解が十分とは判断できませんでした。</p> <p>園長は関係機関や複数の保育団体の会議や研修に参加し、保育に関する法令や制度等について情報を収集し、必要に応じて職員会議等で職員に向けて説明を行っていますが、職員の半数に満たない正職員のみが出席する会議での説明に留まっており、更には関係法令・制度についてのリスト化には至っていません。</p> <p>園長はこれまで1年に1回、常勤保育士の自己評価を実施している他、保育指導計画に保育士の評価・反省の記入欄を設け、各クラスの「日誌」には、必要によりコメントを記載した付箋を貼って、保育の質の向上につながるよう取り組んでいます。</p> <p>保育園の経営状況に関しては副園長(理事長)からの日常的な予算執行状況等に基づく指導を踏まえ、必要に応じて職員にも説明しています。人員配置は年度当初から配置基準を上回る保育士の確保に努めていますが、職員全体で経営や業務の効率化について検討する機会が少ないために、全職員が一致団結しての「ムリ・ムダ・ムラ」のない業務の遂行には至っていないことがうかがえました。</p>
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	b	
I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	b	
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ち、その取り組みに指導力を発揮している。	b	
I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	b	

評価対象 II 組織の運営管理	評価結果	評価結果講評																							
<b>II-1 経営状況の把握</b> II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。 <table border="1" data-bbox="161 300 655 618"> <tr> <td data-bbox="161 300 373 398">II-1-(1)-①</td> <td data-bbox="373 300 655 398">事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。</td> <td data-bbox="655 300 735 398">b</td> </tr> <tr> <td data-bbox="161 398 373 524">II-1-(1)-②</td> <td data-bbox="373 398 655 524">経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。</td> <td data-bbox="655 398 735 524">c</td> </tr> <tr> <td data-bbox="161 524 373 618">II-1-(1)-③</td> <td data-bbox="373 524 655 618">外部監査が実施されている。</td> <td data-bbox="655 524 735 618">b</td> </tr> </table>	II-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	b	II-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	c	II-1-(1)-③	外部監査が実施されている。	b	<p>保育経営・運営に関する情報については、複数の保育団体へ加盟し、総会、研修等にも参加し収集しています。しかし、把握した情報や現在の動向を的確に経営や運営に反映させていく取り組みや職員全体への周知がなされていないので、今後スタートする子ども子育て支援新制度や少子化などにも対応していく園の方針や共通理解を深めていく取り組みが期待されます。</p> <p>現在、具体的に経営に関する状況を詳細に継続して分析するまでには至っていないようですので、将来的な見通しにたつて効率的な経営と努力目標などを数値化して、子どもや職員の処遇向上へ反映させていくことが望めます。財務管理等においては、定期的な嘱託税理士の指導により、適切な会計処理も確認され、新たなホームページでは財務諸表も公開されています。今後、運営面や保育内容面を含んだ包括的な監査を定期的(3～5年に1度程度)に実施していくことが期待されます。</p>															
II-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	b																							
II-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	c																							
II-1-(1)-③	外部監査が実施されている。	b																							
<b>II-2 人材の確保・養成</b> II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。 <table border="1" data-bbox="161 739 655 887"> <tr> <td data-bbox="161 739 373 819">II-2-(1)-①</td> <td data-bbox="373 739 655 819">必要な人材に関する具体的なプランが確立している。</td> <td data-bbox="655 739 735 819">c</td> </tr> <tr> <td data-bbox="161 819 373 887">II-2-(1)-②</td> <td data-bbox="373 819 655 887">人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。</td> <td data-bbox="655 819 735 887">c</td> </tr> </table> II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。 <table border="1" data-bbox="161 954 655 1133"> <tr> <td data-bbox="161 954 373 1052">II-2-(2)-①</td> <td data-bbox="373 954 655 1052">職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。</td> <td data-bbox="655 954 735 1052">b</td> </tr> <tr> <td data-bbox="161 1052 373 1133">II-2-(2)-②</td> <td data-bbox="373 1052 655 1133">職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。</td> <td data-bbox="655 1052 735 1133">b</td> </tr> </table> II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。 <table border="1" data-bbox="161 1200 655 1469"> <tr> <td data-bbox="161 1200 373 1281">II-2-(3)-①</td> <td data-bbox="373 1200 655 1281">職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。</td> <td data-bbox="655 1200 735 1281">c</td> </tr> <tr> <td data-bbox="161 1281 373 1379">II-2-(3)-②</td> <td data-bbox="373 1281 655 1379">個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。</td> <td data-bbox="655 1281 735 1379">c</td> </tr> <tr> <td data-bbox="161 1379 373 1469">II-2-(3)-③</td> <td data-bbox="373 1379 655 1469">定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。</td> <td data-bbox="655 1379 735 1469">c</td> </tr> </table> II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。 <table border="1" data-bbox="161 1545 655 1671"> <tr> <td data-bbox="161 1545 373 1671">II-2-(4)-①</td> <td data-bbox="373 1545 655 1671">実習生の受け入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取り組みをしている。</td> <td data-bbox="655 1545 735 1671">b</td> </tr> </table>	II-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	c	II-2-(1)-②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	c	II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	b	II-2-(2)-②	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	b	II-2-(3)-①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	c	II-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	c	II-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	c	II-2-(4)-①	実習生の受け入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取り組みをしている。	b	<p>訪問調査時の現状で、勤務体制(シフト保育士)による状況配置数は、法定基準を充たしていますが、経営者及び管理者からの聴き取りや事業計画等においても、法人(園)が必要とする人材の育成・研修理念や人員体制に関する具体的なプランや方針が立てられていませんでした。事業計画や報告書には、組織管理関連の項目として職員構成数が記載されていますが、今後、保育士定数算定表(特別保育加算等含む)を事業計画やホームページにも掲載し、職員や保護者、関係機関等に周知していくことが望めます。今回の保護者アンケートにおいても、常勤する保育士について若年(経験年数)層の配置に関して、不安視する声も散見されましたので、パート保育士(ベテラン保育士)の常勤昇格や配置を全体の課題として話し合われてはいかがでしょうか。</p> <p>人事考課については、年に1度常勤職員と面談し次年度へ向けた取り組みを行っているということですが、面談の記録や個々に反映されていませんでした。人事考課を導入する場合は、実施の意義や目的の理解、客観的な効果基準の策定や複数の考課者の養成(セミナー参加等)を行ったうえで、パート職員を含め効果的に実施していくことが期待されます。</p> <p>就業状況への配慮では、職員一人ひとりの仕事と生活の調和(ワークライフバランス)に配慮し、有給休暇取得等への対応を充実させていくことが望めます。福利厚生面では、園内で毎日着用するエプロンや行事で統一するTシャツの配布・貸与など、職員の負担とならないよう配慮されています。</p> <p>資質向上の取組みとして、事業計画に内部研修は「必要に応じ内容を決めて実施」と記載されていますが、訪問調査時と前年度においても内部研修は実施されていません。ぜひ、小柳保育園としての研修方針を明確にし、内部研修の「必要性・あり方」を認識して、積極的に取り組んでいくことが強く望めます。また、パート職員も含め外部研修の伝達講習などを充実させ、職員一人ひとりの研修計画(目標等)を作成し、資質向上や保育に反映させていく園全体での取り組みが望めます。</p> <p>実習生を積極的に受入れ育成を行っていくことは、社会的資源である保育所の責務の一つとなっていますので、今後、効果的で全職員が共通理解・認識を育てる指導マニュアル等の作成が望めます。</p>
II-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	c																							
II-2-(1)-②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	c																							
II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	b																							
II-2-(2)-②	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	b																							
II-2-(3)-①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	c																							
II-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	c																							
II-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	c																							
II-2-(4)-①	実習生の受け入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取り組みをしている。	b																							
<b>II-3 安全管理</b> II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。 <table border="1" data-bbox="161 1792 655 2107"> <tr> <td data-bbox="161 1792 373 1904">II-3-(1)-①</td> <td data-bbox="373 1792 655 1904">緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。</td> <td data-bbox="655 1792 735 1904">b</td> </tr> <tr> <td data-bbox="161 1904 373 2007">II-3-(1)-②</td> <td data-bbox="373 1904 655 2007">災害時に対する利用者の安全確保のための取り組みを行っている。</td> <td data-bbox="655 1904 735 2007">b</td> </tr> <tr> <td data-bbox="161 2007 373 2107">II-3-(1)-③</td> <td data-bbox="373 2007 655 2107">利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。</td> <td data-bbox="655 2007 735 2107">b</td> </tr> </table>	II-3-(1)-①	緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	b	II-3-(1)-②	災害時に対する利用者の安全確保のための取り組みを行っている。	b	II-3-(1)-③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	b	<p>緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応については、マニュアルも各保育室に配備され、各職員もマニュアルに沿った対応を理解し取り組んでいます。また、玄関でのお知らせボード等でも感染症(インフルエンザ等)流行の状況など連絡し、注意喚起を促しています。今後は、更に定期的なマニュアルの見直しやヒヤリハット記入本来の目的と効果を職員全体で話し合っていくなど、再確認していくことを期待します。</p> <p>災害時への対応に限らず、子どもの安全を確保するためのリスク等を、園全体で把握する取り組みを期待します。今後、各保育室の温・湿度計の設置と記録、保育室等の扉(入口、押入れ)の指挟みへの配慮や工夫が望めます。また大規模な災害や火災時の園外避難などを想定して、防災頭巾着用の実践訓練と乳児避難対応を強化していくための話し合いや取り組みを行っていくことを期待します。</p>															
II-3-(1)-①	緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	b																							
II-3-(1)-②	災害時に対する利用者の安全確保のための取り組みを行っている。	b																							
II-3-(1)-③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	b																							

評価対象Ⅱ 組織の運営管理	評価結果	評価結果講評																					
<p>Ⅱ-4 地域との交流</p> <p>Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。</p> <table border="1" data-bbox="161 248 715 645"> <tr> <td data-bbox="161 248 371 421">Ⅱ-4-(1)-①</td> <td data-bbox="371 248 715 421">利用者と地域とのかかわりを大切にしている。</td> <td data-bbox="715 248 790 421">a</td> </tr> <tr> <td data-bbox="161 421 371 510">Ⅱ-4-(1)-②</td> <td data-bbox="371 421 715 510">事業所が有する機能を地域に還元している。</td> <td data-bbox="715 421 790 510">b</td> </tr> <tr> <td data-bbox="161 510 371 645">Ⅱ-4-(1)-③</td> <td data-bbox="371 510 715 645">ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。</td> <td data-bbox="715 510 790 645">b</td> </tr> </table> <p>Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。</p> <table border="1" data-bbox="161 719 715 913"> <tr> <td data-bbox="161 719 371 808">Ⅱ-4-(2)-①</td> <td data-bbox="371 719 715 808">必要な社会資源を明確にしている。</td> <td data-bbox="715 719 790 808">b</td> </tr> <tr> <td data-bbox="161 808 371 913">Ⅱ-4-(2)-②</td> <td data-bbox="371 808 715 913">関係機関等との連携が適切に行われている。</td> <td data-bbox="715 808 790 913">b</td> </tr> </table> <p>Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p> <table border="1" data-bbox="161 987 715 1146"> <tr> <td data-bbox="161 987 371 1070">Ⅱ-4-(3)-①</td> <td data-bbox="371 987 715 1070">地域の福祉ニーズを把握している。</td> <td data-bbox="715 987 790 1070">b</td> </tr> <tr> <td data-bbox="161 1070 371 1146">Ⅱ-4-(3)-②</td> <td data-bbox="371 1070 715 1146">地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。</td> <td data-bbox="715 1070 790 1146">b</td> </tr> </table>	Ⅱ-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a	Ⅱ-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	b	Ⅱ-4-(1)-③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	b	Ⅱ-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	b	Ⅱ-4-(2)-②	関係機関等との連携が適切に行われている。	b	Ⅱ-4-(3)-①	地域の福祉ニーズを把握している。	b	Ⅱ-4-(3)-②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	b		<p>ほぼ毎月の園外保育等で様々な場所や公共機関などへ出かけ、電車乗車体験やねぶた見物、地域内の小学校見学、町内探検など多くの社会体験を通し、子どもたちと地域(近隣に限らず青森市内)のかかわりを良く行っています。また、園の特徴ともいえる子ども達の「よさこい」の踊りは、市内数カ所のイベントに参加依頼を受け披露し、子ども達も発表する喜びを味わい貴重な体験とっています。</p> <p>事業所の持つ特性である保育の専門性を活かし、自主事業ですが一時預かりを実施し、子育て家庭等への保育支援を行っています。また、町内関係者の夏祭りへ案内や近隣の小学生に園庭を開放し、子どもの居場所確保にも貢献しています。今後は、園庭開放の安全性を担保したルールや利用時間などを決めて、子どもの安全な居場所として継続していくことを期待します。</p> <p>保育のボランティアとして、行事など効果的に高めていくために、「子育て応援隊」(青森市)や学生等の受け入れを積極的に呼びかけていくなど検討されてみてはいかがでしょうか。</p> <p>関係機関との連携では、保育や子育てに関連する社会資源のリストが一部機関に限定されており、事務室(一部保育室含む)の掲示も見づらい場所となっています。また、職員間で社会資源に関しての理解周知に若干、差異が感じられましたので、内容について理解説明していく取り組みが望まれます。</p> <p>地域の福祉ニーズへの対応として、前述のように自主事業として一時預かりを行い、年間で50名前後の子どもを受け入れています。今後更に、「子ども・子育て支援新制度」を活用するなど、地域の子育て家庭に対する独自の支援活動を検討されてみてはいかがでしょうか。</p>
Ⅱ-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a																					
Ⅱ-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	b																					
Ⅱ-4-(1)-③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	b																					
Ⅱ-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	b																					
Ⅱ-4-(2)-②	関係機関等との連携が適切に行われている。	b																					
Ⅱ-4-(3)-①	地域の福祉ニーズを把握している。	b																					
Ⅱ-4-(3)-②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	b																					
<p>評価対象Ⅲ 適切な福祉サービス</p> <p>Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス</p> <p>Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。</p> <table border="1" data-bbox="161 1301 715 1592"> <tr> <td data-bbox="161 1301 371 1480">Ⅲ-1-(1)-①</td> <td data-bbox="371 1301 715 1480">利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。</td> <td data-bbox="715 1301 790 1480">b</td> </tr> <tr> <td data-bbox="161 1480 371 1592">Ⅲ-1-(1)-②</td> <td data-bbox="371 1480 715 1592">利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。</td> <td data-bbox="715 1480 790 1592">b</td> </tr> </table> <p>Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。</p> <table border="1" data-bbox="161 1666 715 1771"> <tr> <td data-bbox="161 1666 371 1771">Ⅲ-1-(2)-①</td> <td data-bbox="371 1666 715 1771">利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取り組みを行っている。</td> <td data-bbox="715 1666 790 1771">b</td> </tr> </table> <p>Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p> <table border="1" data-bbox="161 1845 715 2085"> <tr> <td data-bbox="161 1845 371 1928">Ⅲ-1-(3)-①</td> <td data-bbox="371 1845 715 1928">利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。</td> <td data-bbox="715 1845 790 1928">b</td> </tr> <tr> <td data-bbox="161 1928 371 2011">Ⅲ-1-(3)-②</td> <td data-bbox="371 1928 715 2011">苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。</td> <td data-bbox="715 1928 790 2011">b</td> </tr> <tr> <td data-bbox="161 2011 371 2085">Ⅲ-1-(3)-③</td> <td data-bbox="371 2011 715 2085">利用者からの意見等に対して迅速に対応している。</td> <td data-bbox="715 2011 790 2085">b</td> </tr> </table>	Ⅲ-1-(1)-①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	Ⅲ-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	b	Ⅲ-1-(2)-①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取り組みを行っている。	b	Ⅲ-1-(3)-①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	b	Ⅲ-1-(3)-②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	b	Ⅲ-1-(3)-③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	b		<p>運営方針(保育理念)、保育方針、保育目標、保育課程、年間指導計画、月・週・日指導計画等で、子ども一人ひとりの成長段階を踏まえた上で養護と教育が一体となり展開されていくことを目標としています。今後は、今回新たに整備したマニュアルやこれから文書化していくべき資料等を可能な限り全職員が参画して話し合い、共通理解と共通意識を保っていくことが期待されます。</p> <p>今回の第三者評価受審を期に新たに策定した保育理念の中に「子どもの最善の利益を考慮する」ということが謳われていますので、「子どもの最善の利益」について、改めて全職員で話し合い共通理解を深めていく取り組みなど期待されます。</p> <p>プライバシー保護に関して、個人情報の保護と混同している自己評価が管理者を含め、ほぼ全職員でしたので、改めて内部研修などを行い、共通理解していくことが望まれます。</p> <p>利用者(保護者等)からの意見要望等は、園の課題や質の向上の一つとして重要な役割となると思われますので、ぜひ保護者アンケート等を定期的に行っていくことを期待します。また、利用者(保護者等)が相談や意見を述べる仕組みとして、玄関に意見箱を設置していますが、利用されることがほぼ無いということですので、年1～2回の保護者との面談時には必ず記録をとり、意見や要望を積極的に聞き取るなどし、更に定期的に保護者が意見や要望を述べる仕組みがあることを周知したり、第三者委員の存在を紹介・記載していくなどの工夫が望まれます。</p>			
Ⅲ-1-(1)-①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	b																					
Ⅲ-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	b																					
Ⅲ-1-(2)-①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取り組みを行っている。	b																					
Ⅲ-1-(3)-①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	b																					
Ⅲ-1-(3)-②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	b																					
Ⅲ-1-(3)-③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	b																					

評価対象 Ⅲ 適切な福祉サービス	評価結果	評価結果講評																					
<p><b>Ⅲ-2 サービスの質の確保</b></p> <p>Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取組が組織的に 行われている。</p> <table border="1" data-bbox="199 302 730 504"> <tr> <td data-bbox="199 302 375 392">Ⅲ-2-(1)-①</td> <td data-bbox="375 302 730 392">サービス内容について定期的に 評価を行う体制を整備している。</td> <td data-bbox="730 302 810 392">b</td> </tr> <tr> <td data-bbox="199 392 375 504">Ⅲ-2-(1)-②</td> <td data-bbox="375 392 730 504">評価結果に基づき組織として取り組 むべき課題を明確にし、改善策・改 善実施計画を立て実施している。</td> <td data-bbox="730 392 810 504">c</td> </tr> </table> <p>Ⅲ-2-(2) 提供するサービスの標準的な実施 方法が確立している。</p> <table border="1" data-bbox="199 571 730 739"> <tr> <td data-bbox="199 571 375 660">Ⅲ-2-(2)-①</td> <td data-bbox="375 571 730 660">提供するサービスについて標準的な実施方 法が文書化されサービスが提供されている。</td> <td data-bbox="730 571 810 660">b</td> </tr> <tr> <td data-bbox="199 660 375 739">Ⅲ-2-(2)-②</td> <td data-bbox="375 660 730 739">標準的な実施方法について見直し をする仕組みが確立されている。</td> <td data-bbox="730 660 810 739">c</td> </tr> </table> <p>Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。</p> <table border="1" data-bbox="199 817 730 1055"> <tr> <td data-bbox="199 817 375 907">Ⅲ-2-(3)-①</td> <td data-bbox="375 817 730 907">利用者に関するサービス実践状 況の記録が適切に行われている。</td> <td data-bbox="730 817 810 907">b</td> </tr> <tr> <td data-bbox="199 907 375 985">Ⅲ-2-(3)-②</td> <td data-bbox="375 907 730 985">利用者に関する記録の管理体 制が確立している。</td> <td data-bbox="730 907 810 985">c</td> </tr> <tr> <td data-bbox="199 985 375 1055">Ⅲ-2-(3)-③</td> <td data-bbox="375 985 730 1055">利用者の状況等に関する情報 を職員間で共有化している。</td> <td data-bbox="730 985 810 1055">b</td> </tr> </table>	Ⅲ-2-(1)-①	サービス内容について定期的に 評価を行う体制を整備している。	b	Ⅲ-2-(1)-②	評価結果に基づき組織として取り組 むべき課題を明確にし、改善策・改 善実施計画を立て実施している。	c	Ⅲ-2-(2)-①	提供するサービスについて標準的な実施方 法が文書化されサービスが提供されている。	b	Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直し をする仕組みが確立されている。	c	Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービス実践状 況の記録が適切に行われている。	b	Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体 制が確立している。	c	Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報 を職員間で共有化している。	b		<p>自己評価は毎年実施していますが、パート保育士を含め全職員で行っていくことが望まれます。また、今回行った第三者評価基準による自己評価は、現在、国が示しているもので、「今、保育園や保育士に、更に保育の現場として何が求められ、何をしなければならぬか」という内容となっていますので、評価項目一つひとつについて、園全体で理解していく勉強会等を行っていくことをぜひ期待します。</p> <p>今回の第三者評価受審を機に、小柳保育園の保育業務マニュアル等多くの資料が、見直し整備されてきましたが、従前のものを含め、全職員への周知徹底を図っていくことが求められます。そのうえで、職員により手順や実施する支援に差が生じないように統一したサービスを提供できるようにしていくことが望まれます。</p> <p>子ども一人ひとりの発達や生活状況が児童票(身体測定記録、発達経過記録、健康診断記録、離乳食、アレルギー問診票等)、保育指導計画、連絡帳等に記録され必要に応じて伝達されていますが、全職員に周知できるように工夫していくことが望まれます。今後は、会議録に記録として残したり、それを会議に参加していない職員に回覧するなどの工夫が期待されます。さらに、記録・文書の保管方法や保存、破棄に関する期間・期限等について具体的に規定した文書を作成し、全職員に周知説明していくことも期待されます。</p>
Ⅲ-2-(1)-①	サービス内容について定期的に 評価を行う体制を整備している。	b																					
Ⅲ-2-(1)-②	評価結果に基づき組織として取り組 むべき課題を明確にし、改善策・改 善実施計画を立て実施している。	c																					
Ⅲ-2-(2)-①	提供するサービスについて標準的な実施方 法が文書化されサービスが提供されている。	b																					
Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直し をする仕組みが確立されている。	c																					
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービス実践状 況の記録が適切に行われている。	b																					
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体 制が確立している。	c																					
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報 を職員間で共有化している。	b																					
<p><b>Ⅲ-3 サービスの開始・継続</b></p> <p>Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。</p> <table border="1" data-bbox="199 1220 730 1400"> <tr> <td data-bbox="199 1220 375 1310">Ⅲ-3-(1)-①</td> <td data-bbox="375 1220 730 1310">利用希望者に対してサービス選択 に必要な情報を提供している。</td> <td data-bbox="730 1220 810 1310">b</td> </tr> <tr> <td data-bbox="199 1310 375 1400">Ⅲ-3-(1)-②</td> <td data-bbox="375 1310 730 1400">サービスの開始にあたり利用者 等に説明し同意を得ている。</td> <td data-bbox="730 1310 810 1400">b</td> </tr> </table> <p>Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応 が行われている。</p> <table border="1" data-bbox="199 1489 730 1630"> <tr> <td data-bbox="199 1489 375 1630">Ⅲ-3-(2)-①</td> <td data-bbox="375 1489 730 1630">事業所の変更や家庭への移行 などにあたりサービスの継続性 に配慮した対応を行っている。</td> <td data-bbox="730 1489 810 1630">c</td> </tr> </table>	Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択 に必要な情報を提供している。	b	Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者 等に説明し同意を得ている。	b	Ⅲ-3-(2)-①	事業所の変更や家庭への移行 などにあたりサービスの継続性 に配慮した対応を行っている。	c		<p>事前に提出頂いた入園のしおり等には新たな理念等が記載されていませんでしたので、入園希望で保育園を見学する方々のためにも早急に現在の統一された内容に整備していくことが望まれます。また、訪問調査当日に確認した指導計画等も同様となっていましたので、対応が急がれます。入園のしおりは、保育時間や行事等について詳しく記載され、準備する持ち物については写真を用いるなどわかりやすく工夫がなされています。</p> <p>利用者の同意に関しては、入園希望者が見学時に保育園の説明を受けた場合、保育園名と説明した職員の記名・押印するよう要請(青森市)がありましたので、説明担当の職員(複数名)と詳細な資料を整備していくことが望まれます。</p> <p>利用者(保護者等)が転園、退園後も保育に関する相談等に応じることなどは口頭ではしていますが、保護者や子どもととの絆を保っていくためにも、文書等(しおりのような物)を作成していくことを期待します。</p>												
Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択 に必要な情報を提供している。	b																					
Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者 等に説明し同意を得ている。	b																					
Ⅲ-3-(2)-①	事業所の変更や家庭への移行 などにあたりサービスの継続性 に配慮した対応を行っている。	c																					
<p><b>Ⅲ-4 サービス実施計画の策定</b></p> <p>Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。</p> <table border="1" data-bbox="199 1758 730 1848"> <tr> <td data-bbox="199 1758 375 1848">Ⅲ-4-(1)-①</td> <td data-bbox="375 1758 730 1848">定められた手順に従ってアセス メントを行っている。</td> <td data-bbox="730 1758 810 1848">b</td> </tr> </table> <p>Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画 が策定されている。</p> <table border="1" data-bbox="199 1915 730 2092"> <tr> <td data-bbox="199 1915 375 2004">Ⅲ-4-(2)-①</td> <td data-bbox="375 1915 730 2004">サービス実施計画を適切に策 定している。</td> <td data-bbox="730 1915 810 2004">b</td> </tr> <tr> <td data-bbox="199 2004 375 2092">Ⅲ-4-(2)-②</td> <td data-bbox="375 2004 730 2092">定期的にサービス計画の評価・ 見直しを行っている。</td> <td data-bbox="730 2004 810 2092">b</td> </tr> </table>	Ⅲ-4-(1)-①	定められた手順に従ってアセス メントを行っている。	b	Ⅲ-4-(2)-①	サービス実施計画を適切に策 定している。	b	Ⅲ-4-(2)-②	定期的にサービス計画の評価・ 見直しを行っている。	b		<p>入園時や進級時に児童家庭調書を配布して子どもや家族の家庭状況や育ちの環境等を把握していますが、前年度の上に張り付けているため、前年度の様子がわからなくなっていますので工夫が求められます。</p> <p>3歳未満児は、子ども一人ひとりの個別の保育指導方針が必要となりますが、1,2歳児に関しては一人ひとりの個別保育指導計画が立てられていませんので、作成と合わせて今後の取り組みが期待されます。また、必要に応じて職員会議において情報の共有化が図られるように、ケース会議、クラス単位等の保育者同士の話し合いの記録を残すことにより、更に職員全体の共通理解や効率的な見直しが図られていくものと思われれます。</p>												
Ⅲ-4-(1)-①	定められた手順に従ってアセス メントを行っている。	b																					
Ⅲ-4-(2)-①	サービス実施計画を適切に策 定している。	b																					
Ⅲ-4-(2)-②	定期的にサービス計画の評価・ 見直しを行っている。	b																					

## 保育サービス内容評価

評価対象 A-1 保育所保育の基本		評価結果	評価結果講評
<b>A-1-(1) 養護と教育の一体的展開</b>			
A-1-(1)-①	保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	b	<p>保育課程は記載内容と保育の実際が整合しない箇所がある他、施設名の「小柳」と「園」の部分が修正後に手書き、保育理念や保育方針が入園のしおりやホームページでの表記に一貫性を欠くものとなっています。今後、定期的に園全体で見直しを図っていくことを期待します。</p> <p>保育室には温かなカーペットを敷き、保育士は授乳や排泄などの際に1人ひとりの状態や要求に応じ、スキンシップを図ったり、微笑みかけたり、優しい言葉がけをしたりと、穏やかな援助がなされていますが、ベビーベッドを使用していないこと、SIDS 予防に向けての定期観察・記録や温・湿度の定期的な計測・記録がないことなど、改善を要する点も見受けられました。</p> <p>1・2歳児は乳児と同じ保育室を共用しており、基本的な生活習慣の援助や探索活動にあたっては、保育者が適切な関わりや配慮がなされています。ただし、ベビーベッドを使用せず床に布団を敷いて眠っている乳児がいることや、発達差が大きい1・2歳が共存していることで、一人ひとりの子どもたちが存分に探索活動ができているとはいえない環境にあるようです。また、個別の指導計画も策定・記載されていません。</p> <p>年齢別の保育室の中で、3歳、4歳、5歳と発達に応じて、段階的に社会性や創造性を育む行事や活動が展開されています。書道、よさこいソーラン、スイミング、クッキング保育等の活動をはじめ、親子遠足、電車移動による航空科学館見学、観劇会など、5歳児を中心に行事も多彩です。特別な配慮を要する子どもがいるクラスには保育士を加配しています。</p> <p>保育課程や年間保育指導計画にも「就学を意識した記載」が確認できます。小学校からは運動会や参観日への案内があり、主に園長が出向いての情報交換や卒園した子どもたちの様子を確認できています。就学前には小学校と子どもの育ちについての話し合いがあり、就学に際しては保育所児童保育要録の提出による情報提供もなされています。</p>
A-1-(1)-②	乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	b	
A-1-(1)-③	1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	b	
A-1-(1)-④	3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a	
A-1-(1)-⑤	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	a	
<b>A-1-(2) 環境を通して行う保育</b>			
A-1-(2)-①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	b	<p>洗い場やトイレは概ね清潔に保たれていますが、廊下は照明設備が十分とは言えず、暗い印象を受けました。また、温・湿度の無い保育室や有っても定期的な計測や記録がされておらず、手洗い場には固形石鹼がネットに入れられて、手拭タオルも他児の物と接触しているなど、基本的な衛生安全への意識・配慮が十分とは言えない状況にあります。</p> <p>各年齢や発達段階に応じて、食事や睡眠等の基本的な生活習慣の確立に向けて適切な配慮がなされています。排泄を失敗した時も、その都度優しく声掛けをし、子どもの心を傷つけないよう配慮しています。採光が良く明るい遊戯室と市内には広い園庭があり、子どもたちはのびのびとした環境下で身体的な戸外活動ができています。</p> <p>子どもの心身の発達段階や興味関心に応じて、段階的・計画的に用意された環境の中で、お気に入りの玩具や遊具で遊んだり、素材や用具を選択したりして遊びを創っていくことができています。</p> <p>花壇の一部を使ってピーマンやミニトマトなどの野菜を栽培し収穫の楽しみを味わい、近くの公園や神社への散歩の際には、子どもたちは近隣の方々や挨拶や言葉を交わしています。また、定期的な園外保育やねぶた祭りの見学、観劇会、三沢までの電車体験等、地域の公共施設を利用する機会が多彩です。</p> <p>絵本や紙芝居はほとんどのクラスで積極的に活用されています。お遊戯会には鍵盤ハーモニカやハンドベルの合奏がプログラムに取り入れられており、更に年長児は年に3回ほど市内各所でのイベントに出演依頼を受けよさこいソーランを披露する機会もあります。</p>
A-1-(2)-②	子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	a	
A-1-(2)-③	子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	a	
A-1-(2)-④	子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	a	
A-1-(2)-⑤	子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	a	
<b>A-1-(3) 職員の資質向上</b>			
A-1-(3)-①	保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	b	<p>保育指導計画や日誌等の評価反省欄への記入を通じて保育士等は評価を行うこととしていますが、やや担当者任せとしている様子が見受けられました。また、各クラスでのカリキュラム検討会議や保育カンファレンスが行われておらず、全職員が主体的に自己評価に取り組んでいる評価には至りませんでした。</p>

評価対象 A-2 子どもの生活と発達	評価結果	評価結果講評
<b>A-2-(1) 生活と発達の連続性</b>		<p>子ども1人ひとりの家庭環境や生活リズム、心身の状況の違いを把握し、子どもの心情や意欲を優しく受け止めながらの保育の実践に努めています。せかす言葉や禁止する言葉を多用した際には、お互いに指摘し合うなどして改善するよう心がけています。</p> <p>心身に障害を有する子どもの保育にあたって保護者はもちろんのこと、関係する療育機関や専門の医療機関等と連携し、当該児童に、より望まれる保育を検討・実践しています。また、発達の遅れなど気になる子については、関係者で話し合いをしています。今後、個別指導計画を策定していくことが不可欠であると思われます。</p> <p>保育課程や年間保育指導計画等に長時間保育に関する記載がありません。保育室はその日の利用する子どもの数で場所を変えており、小さな子どもがいる場合は3歳未満児室を使っています。おやつを提供していますが、献立表に表記はありません。また、延長保育については、利用簿はあるものの、延長保育の実施内容の記録は特になされていません。</p>
<b>A-2-(1)-①</b> 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	b	
<b>A-2-(1)-②</b> 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	b	
<b>A-2-(1)-③</b> 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	c	
<b>A-2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場</b>		<p>児童家庭調書への記載や定期面談等で既往症や予防接種の状況について保護者から情報を得るように努めています。健康管理マニュアルが定められていますが、年間保健計画が策定されていません。</p> <p>子どもの食事量の個人差や体調に応じた食事を提供しているだけでなく、子どもたちが育てた野菜を調理食材として食べたり、毎月1回のクッキング保育等、食事を楽しむ多彩な工夫を進めています。</p> <p>栄養士等の調理者が日常的に保育室を見回り、子どもの喫食状況を確認したり、子どもとの対話や給食会議等から子どもの食の量や嗜好などを把握しています。手作りおやつは実施されておらず、食器もメラミン製のみとなっていますので、今後の配慮を期待します。</p> <p>健康診断や歯科健診の結果を保護者に伝達し、虫歯予防や歯磨き指導などに歯科健診の結果を反映させるようにしています。</p>
<b>A-2-(2)-①</b> 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	b	
<b>A-2-(2)-②</b> 食事を楽しむことができる工夫をしている。	a	
<b>A-2-(2)-③</b> 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	a	
<b>A-2-(2)-④</b> 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	b	
<b>A-2-(3) 健康及び安全の実施体制</b>		<p>厚生労働省による『保育所におけるアレルギー対応ガイドライン』を参考にアレルギー対応マニュアルが定められています。職員の理解は十分とは言えないものの、実際の取り組みは、専門医から生活管理指導書の提出を求めたり、ラップや他児と異なる食器の使用などで誤食事故を防止するよう取り組んでいます。</p> <p>調理場、水周りなどの衛生管理(清掃、消毒・殺菌)についてのマニュアルが整備されておらず、そのため1人ひとりの職員の衛生管理に対する手順や方法、意識に大きな差が生じていますので、今後の対応や取り組みが期待されます。</p>
<b>A-2-(3)-①</b> アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a	
<b>A-2-(3)-②</b> 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	b	
<b>A-3 保護者に対する支援</b>	<b>評価結果</b>	<b>評価結果講評</b>
<b>A-3-(1) 家庭との緊密な連携</b>		<p>献立表で保育園の給食メニューを毎月家庭に伝えている他、玄関にその日の献立を展示していますが、保護者がふだんの給食を試食できるような機会はありません。また、給食に関する定期的なおたよりの発行や年間食育計画の策定がなされていません。</p> <p>子どもの送迎時の対話や連絡帳のやり取りを通じて、保護者とのコミュニケーションを図っています。保育参観を年1回、保護者面談を年1~2回開催し、保育園での子どもたちの様子や家庭での状況を保護者と保育者が共有するよう努めています。その他にも、親子バス遠足、夏祭り、運動会、お遊戯会等々、親子参加型や来園型の行事が多く、それらからよりよい共通理解や連携の関係が構築できています。</p> <p>職員は総じて不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に向けて日々努めています。児童虐待に関するマニュアルが全職員で周知・理解が徹底されていないこともあり、被虐待が疑われる際の1人ひとりの判断基準に相違があることが懸念されますので、今後早急に話し合いの場を設けるなどの取り組みが望まれます。</p>
<b>A-3-(1)-①</b> 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	b	
<b>A-3-(1)-①</b> 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	a	
<b>A-3-(1)-①</b> 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	a	
<b>A-3-(1)-①</b> 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	b	